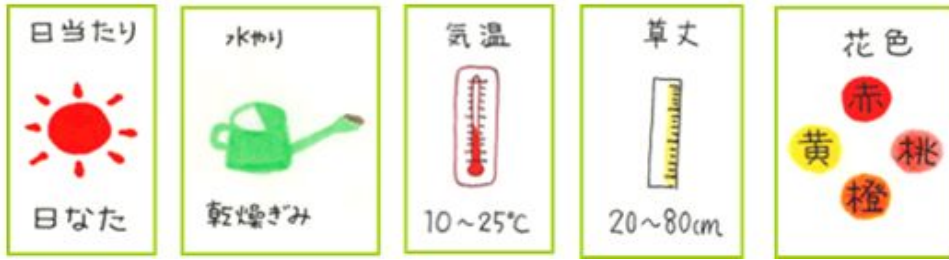


お花の栽培シリーズ「カラコエ」

2008年12月	師走(しはす)・極月(ごくげつ)・余月(よげつ)・春待月(はるまちづき)	●来春への準備期間
●木枯らしが吹いて、木々も枯れ葉がめだつようになりました。ナンテンやウメモドキの赤い実がとてもきれいです。さびしくなった庭を片付けて、来春にむかって気分を一新しましょう。		
庭木の作業	・バラの植付け／庭木の元肥	
草花の作業	・フクジュソウの植え込み／落葉集めと腐葉土づくり	

今月の誕生花	カトレア・スイセン・ポインセチア	
今月の花	デンドロビウム 花言葉 / わがままな美人	
	<p>デンドロビウムは、ギリシャ語の「樹木」と「生活する」が合体してできた名前です。木にくっついて生活する 着生ランで、日本のフウラン、クラモン、カヤラン、セッコクなどの仲間。その種類は 一千種を超えているといわれています。</p> <p>冬から春にかけて 咲く花ですが、熱帯地方原産なので、見るからにトロピカルな色合いが出ています。</p> <p>カトレアや シンビジウムと同じ 洋ランの仲間、鉢花の中でも 花色が多彩で 華やかなので、部屋に1鉢あれば 途端に南国気分になれるようです。</p> <p>園芸上 重要なのは、デ・ノビルを中心に改良されたノビル系デンドロビウムと、デ・ファレノプシスを中心に改良された デンファレと呼ばれる品種です。</p>	
	<p>デンファレは、沖縄などから供給される 国産品と、タイやシンガポールなどから輸入される 輸入品とがあります。</p> <p>ガールフレンドに贈るときは、花言葉は添えないほうが無難。男性から贈られたときは、ちょっとわが身を振りかえったほうがいいかもしれません。</p>	
	<p>原産地はアジア東部～オセアニア。ラン科デンドロビウム属の多年草。草丈は数10cm～1m以上。デンファレ＝周年、ノビル系＝12～4月。最盛期はデンファレ＝12月、ノビル系＝1月。葉の形状は、被針形。花色は、赤・ピンク、黄・オレンジ、青・紫、白、緑、茶、他色、複色、覆輪・底白。英名デンドロビウム(Dendrobium)。学名はDendrobium cvs. 花持ちは2～4週間程度。</p>	





かつては年末に発売される鉢植えの代表でしたが、最近では年間を通じて鉢植えが出回っています。また、品種改良が進み、釣鐘状のかわいらしい花を咲かせる品種も登場しました。

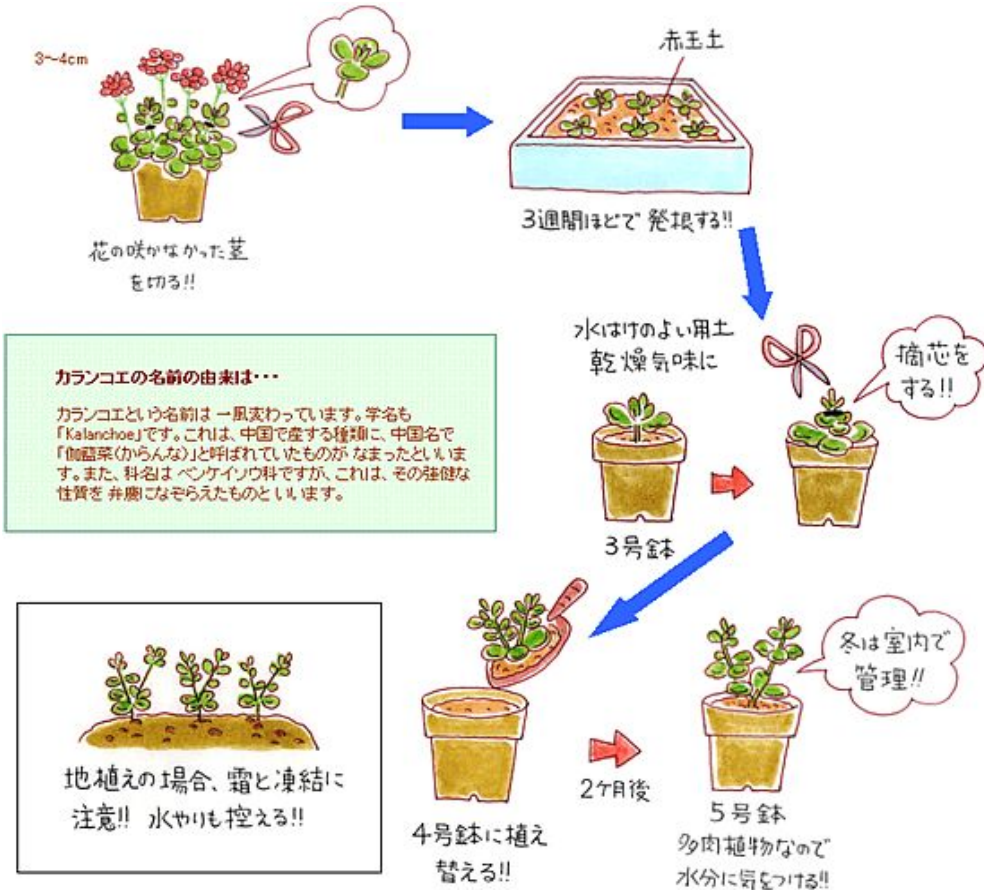


多肉植物で、茎、葉ともに肉が厚いのが特徴です、春になると小花が房状に集まって咲きます。春の花ですが、冬期の温度を8度以上に保つようにすれば、2月ごろから 開花させることができます。

乾燥に強く、比較的丈夫で育てやすい花です。ただ、湿度には弱く根腐れ起こしやすいので、水はけのよい用土で乾燥気味に育てます。とくに夏は、半日陰の涼しい場所に置き、水やりを控えるようにします。秋口になったら 水を多めに与えるとよく育ちます。冬は再び水やりを 控えめにします。

● 植えつけのやり方

◎ 挿し芽



## ●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花期 											
置き場所	屋内の日当たりがよい場所			屋外の日当たりがよい場所			屋外の半日陰		屋外の日当たりがよい場所		屋内の日当たりがよい場所	
水やり	控えめにする (2~3日に1回)		表土が乾いたら与える (1~2日に1回)			控えめにする (2~3日に1回)		表土が乾いたら与える (1~2日に1回)		控えめにする (2~3日に1回)		
肥料	***** 2週間に1回 液肥を与える					◎ 花が終わったら、 緩効性化成肥料を与える		***** 2週間に1回 液肥を与える				
病虫	 アブラムシの予防に、月2回殺虫剤を散布する											
作業	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  切り戻し   挿し芽         </div> <div style="text-align: center;">  植え替え   挿芯         </div> <div style="text-align: center;">  植えつけ         </div> </div>											